



【泡噴いてぶっ倒れるまで】

作品介绍

女性用風俗店「ヘブン」。ここで働くスタッフは、昇級試験に合格することで、誰でも上に昇り詰めることができる。リリアは今日、初めて昇級試験を受ける。

試験官はレイナというリリアの先輩。

レイナの実力は店内トップクラスであり、

リリアにこの店の仕事を教えたのも彼女だった。

そんな恩のある先輩を、リリアは敢えて試験官に指名した。

理由はただ1つ。この店のNo.1にのしあがるためだった。

一方で、若い芽は徹底的に潰しておきたいレイナ。

思惑が交錯する中、レイナが出した試験の合格条件は

「レイナに勝つ」こと。

そしてルールは――

「泡噴いてぶっ倒れた方が負け」

【台本】

／／トラック①

リリアはレイナの待つ部屋へ入っていく

（リリア…左耳10cm、レイナ…右耳10cm）

レイナ 「どうぞー 入ってちょうだい」

リリア 「失礼します、レイナさん」

レイナ 「ひさしぶりね、リリア♡

昇級試験担当に指名してくれてありがとう。

もうここまで上がってきたのね」

リリア 「レイナさんが、いろいろ教えてくれたからです。

今日は、よろしくお願いします」

レイナ 「ふふ…♡ そんないい子ちゃんじゃないでしょ？

研修のときからわかっていたわ♡

ちょっと、こっち来て」

（リリア…左耳5cm、レイナ…右耳5cm）

リリア 「なんのことです？」

レイナ 「とぼけないで…♡」

リリア

「んっ♡」

レイナはリリアの下着に手を入れ、胸を揉む

レイナ

「乳首……ビンビンになってるよ♡
ちくび

ふふ……私わたしのこと潰つぶしに来たんでしょ？

からだ身体がやりたいって言ってるもんね」

リリア

「ふう……ばれましたか？」

でも、レイナさんも……わたしとやりたいんですよね？」

レイナ

「んっ♡ ああん！」

リリアもレイナの胸を生で揉み返す

リリア

「ちくび……こんなに固くして。」

人のこと言えないですよ」

レイナ

「あら、そんな挑発も覚えたんだ？」

リリア

「お互いやり合いたいんだから、もう始めませんか？」

レイナ

「んんゝだめよ、ルールを決めて、お互い合意してから

始めるルールなの」

リリア

「ルール？」

二人とも相手の胸から手を離す

レイナ

「はゝい、まず合格の条件をお伝えします。」

それは、逝かせ合いで私に勝つことです。
ルールは簡単……」

←（レイナ）脅すように

レイナ 「『泡噴いてぶっ倒れた方が負け』これでしょうか？」

リリア 「ええ、いいですよ」

レイナ 「あらあ、クールねえ。もっとビビると思ったのに」

リリア 「元々、踏みつぶしてのしあがろうと思ってましたから」

レイナ 「まあ♡ 素敵。相思相愛じゃない」

レイナ 「完膚なきまでに、叩き潰してあ・げ・る♡

あ、そうだ。私に勝てたら、私のポジションまで

引き上げてあげるわ♡」

リリア 「いいんですか？ 勝手に決めて」

レイナ 「ええ、問題ないわ。負けないから♡ 少なくとも……

おっぱいの大きさは負けてないってわかったし」

リリアの乳房をレイナが揉みまわす

「んんんっ♡ わたしの方が……おおきい……！」

リリアも乳房を揉み返す

（リリア..左耳0cm、レイナ..右耳0cm）

レイナ

27「はあん♡ あら、怒った？そういうところもあるんだ？」

リリア

28「はあ♡ はあ♡ 余裕なフリして……おっぱい揉まれて
随分気持ちよさそうですね」

レイナ

29「ぜんぜん、効いてないわよ。」

なんなら、この場で不合格 だしてあげようか？」

リリア

30「あんまり甘く見ない方が……いいですよ」

お互いに唇を合わせ責め合う

リリア

31「んむっ♡ むちゅ♡ むちゅ♡ んじゅ♡ んちゅ♡」

レイナ

32「はむっ!? んちゅ♡ んじゅ♡ キス……

激しいじゃない…… ちゅぱ♡ ちゅうう♡」

リリア

33「ぷはっ♡ はあはあ♡ んじゅううううう♡」

レイナ

34「んちゅ♡ んちゅ♡ ちゅぱ♡ んんん！

うまいうまい♡ とろけちゃいそう♡ んちゅ♡

ちゅぱ♡」

リリア

35「んちゅ♡ むちゅ♡ ぷはっ♡ もう試験は、

始まってるんですよね？」

レイナ

36「ええ、そうよ。本気だしてらめる？」

リリア

37「ええ。本^{ほん}気^きで潰^{つぶ}します」

お互いの乳首を合わせて抱きしめ合う

レイナ

38「んんっ！ 乳^{ちく}首^び合^あわせ……いいわねえ……

んおっ♡ はあ♡ はあ♡ ああ♡ んんうっ♡」

リリア

39「どうしました？ デカ乳^{ちく}首^びぐりぐりされて気^き持^もちいいんですか？ んんっ♡」

レイナ

40「はあはあ♡ あああ……♡ ああ……♡ うふふふ。

お・か・え・し♡ あはあ……！

乳^{ちく}首^びつぶれちゃってるわよ♡ ねえ？ 逝^いきそう？」

リリア

41「んあああっーッ！ あああ……♡ あああ……♡

んんんんっ♡」

レイナ

42「はあはあ♡ んああああんっ♡

おっぱい擦^すり合^あわせるの、気^き持^もちいいわよね。

大きいおっぱい同^{どう}士^しならなおさら……」

胸を合わせながらキスで責め合う

リリア

43「はああん♡ はあ……♡ はあ……♡

逝^いかせて……あげますよ……んんっ♡ んんっ♡」

レイナ

「んんんっ♡ 負けないわよ…… んあっ♡ んっ♡
んむううううううううっ♡」

リリア

「んちゅ♡ んちゅ♡ ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡

はああっ……はあっ……はあっ……！ むちゅっ♡」

レイナ

「ちゅぱっ♡ んふはっ♡ なまいき……つぶす……」

リリア

「ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡

ぷはあああああっ♡

つぶす……んじゅ……んちゅ……つぶす……」

レイナ

「ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡ ちゅぱっ♡

ぷはあああああっ♡

つぶす……んじゅ……んじゅる……つぶす……」

同時に指でおまんこを責めあう。キスはやめている

リリア

「はああ♡ はああ♡ ううう♡

はああ♡ やだあ♡ はあああああ♡

おまんこ……んおっ♡ ゆびが……んんんんっ♡

深い……！」

レイナ

「はああ♡ はああ♡ はああ♡ はああ♡ はああ♡ はああ♡
はああ♡ はああ♡ そっちこそ……♡ ゆび……

挿れすぎ♡」

リリア

「はああ……♡ おまんこ……♡ ちくび♡

りようほうやばい……♡ はああ♡ あああ♡

はやく……逝ってえ……！ ふああ♡」

レイナ

「んああ♡……♡ んああ♡……んお♡……ん♡

はああ♡ 逝け♡ 逝っちゃえ♡ ほら♡」

←（リリア・レイナ）絶頂に向かって段々余裕がなくなるよ

うに

リリア

「ああ♡……♡ あああ♡……♡ あああ♡……♡ あああ♡……♡

ああ♡……♡ あああ♡……♡ あああ♡……♡ あああ♡……♡

イック♡……♡ あああ♡……♡ 逝く♡……♡ シン♡……♡！」

レイナ

「ハア♡……♡ ハア♡……♡ ハア♡……♡ ハア♡……♡

ハア♡……♡ ハア♡……♡ ハア♡……♡ ハア♡……♡

ああ♡……♡……♡ あああ♡……♡……♡ あああ♡……♡……♡

リリア

「んお♡……♡……♡（絶頂）」

レイナ

「ああ♡……♡……♡（絶頂）」

床に膝をつく2人

(リリア..左耳10cm、レイナ..右耳10cm)

57「はあ……はあ……んおっ……♡」

58「はあはあはあ……はあはあはあ……」

59「はあはあはあ……勝った……勝ったあ……!」

60「何言^{なに}ってるの? はあはあ……リリアが先に、

逝^いったでしょ? はあはあ……」

61「いいえ、レイナさんの方が……」

ほんの少し先に、はあはあ、逝^いきましたよね?」

62「逝^いってない。嘘つかないでくれる」

63「どっちが嘘つきですか? 負けたくせに……」

64「あなたの負けでしょ? こんなに潮噴^{しおふ}いてるくせに」

65「それはお互い様ですよね?

パンツ、びちょびちょですよ?」

66「リリアの方が濡^ぬれてるわよ? ほら、搾^{しぼ}ったら出てくる」

67「んっ! そっちこそ……ほら!」

68「んっ! そっちの方が……逝^いってるでしょ……!」

69「レイナさんの……負けです……!」

レイナ

「あなたの負けよ！」

リリア

「負けてないです！」

座ったまま睨み合い

レイナ

「はあ……はあ……ふう。まあ、そんなのどうでもいいわ。

ウォーミングアップはこれくらいでいいかしら？

ルール、忘れてないわよね？」

リリア

「泡噴いてぶっ倒れた方が負け。続き、やりましょうよ」

レイナ

「ふふ……ねえ明日、ちゃんと休み取ってる？」

本気でやっちゃうから、明日は動けないわよ」

リリア

「必要ありません。レイナさんこそ、明日の仕事、

代わってあげましょうか」

レイナ

「あは♡ 怒らせようとしてるんだ？ かわいい♡」

リリア

「怖いんですか？ わたしとやるの」

←（レイナ）怒りを表して

レイナ

「は？」

リリア

「なんですか」

沈黙の睨み合い

レイナ

「うふふ♡」

レイナ

「ここから先は、ベッドの上でおまんこ突きあわせて

語りましようか♡」

リリア

「望むところです」

／＼トラック①終

／／トラック②

二人は全裸で大きなベッドの上にいる

(リリア…左耳10cm、レイナ…右耳10cm)

レイナ

82 「女^{おんな}ふたりが裸でベッドの上^{うえ}ってさ……リングに上^あがって
るみたいでゾクゾクしない？」

リリア

84 「それに関^{かん}しては同感^{どうかん}です。おまた、疼^{うず}いていますから」

レイナ

85 「ふふ……私^{わたし}も♡ 格^{かく}付けするのって、いつも興奮^{こうふん}するの
よねえ」

リリア

86 「自分が負けるって思^{おも}ってないんですね」

レイナ

87 「思^{おも}ってないわよ♡ それじゃあ、……はい！
どこからでもどうぞ？」

レイナが仰向けに寝て誘う

リリア

88 「むっ。なんのマネですか？」

レイナ

89 「『上^あ』。譲^{ゆず}ってあげるって言^いってるの。
好き^{すき}にしているわよ」

リリア

90 「そんなにわたしを怒^{おこ}らせたんですね。後悔^{こうかい}しますよ」

レイナ

91 「ふふ……これも作戦^{さくせん}でしょ？ ほら、来^こなさいよ。

私^{わたし}のこと、潰^{つぶ}したいんでしょう？」

リリア 92 「なら誘さそいに乗ってあげます。ただし……」

レイナ 93 「んむっ」

シックスナインの形になるようにリリアが身体を密着させる

(リリア..前方5 c m、レイナ..背後5 c m)

リリア 94 「責め合いです。わたしのおまんこ、見えてますよね？」

レイナ 95 「さいっこう♡ 正々堂々せいせいどうどうとして気持ちいいわぁ♡

それに……キレイなおまんこ、ちゃーんと見えてるわよ♡」

リリア 96 「そっちのおまんこも、中まで丸見えまるみですよ」

レイナ 97 「いやあん♡ えっち♡

ふふ……ねえ、リリア。女の子の闘いはね、

結局おまんこが根をあげた方の負けなのよ。
けっきょく

ここを、わからせた方が勝ち♡」

リリア 98 「だからなんですか？」

レイナ 99 「わからないかしら？」

もうすでに、結構な修羅場しゆらばに立ってるのよ？」

100 「ふうううっ!! 、あああああああああ!!」

レイナ 101 「じゅるっ♡ じゅばああ♡ ふう……おまんこに

舌した挿れたのは初めてかしら? すっごい反応♡」

リリア

112「ふううう……♡ ふうう……♡ とばしますね……」

わたしはじっくり料理したいので……あんむっ♡」

レイナ

113「ああああん♡ あああ♡ んんんっ！ やるじゃない

あっ……！ あっ……！ むじゅううう♡ んちゅぱ♡」

リリア

114「むちゅっ！ むちゅっ！ ちゅぽっ♡

ふはあっ♡ はうううううっ♡」

レイナ

114「ちゅぱ♡ ちゅぱ♡ ふふ……もう潮しお、ふいちゃう？

ちゅぱ♡ ちゅぱ♡ いいのよ遠慮えんりょなくて」

リリア

115「遠慮えんりょ？ してませんけど……じゅぱ♡ じゅぱ♡

んっ♡ はうううううっ♡」

レイナ

116「むちゅ♡ むちゅ♡ ちゅううううう♡」

リリア

117「はあはあっ♡ ん、おおおッ!! 舌が、また……！

はああーっ！ ああアッ……!! ふかしい……！」

レイナ

118「ふうう……♡ おちんぽと勘違かんちがいして、

おまんこが締しまってきてるわ……へんたいさん♡

望のぞみ通とおり挿いれてあげる」

リリア

119「んああああっ！ ああああ！ あああ♡ はああ♡

んああ♡ やめ……っ やめ……♡」

レイナ

¹²⁰「んはあっ♡　じゅるじゅるじゅる！　はあ♡　はあ♡
気に入ってくれたかしら♡」

リリア

¹²¹「んああああああっ……うお……ほお……」

レイナ

¹²²「むちゅ♡　むちゅ♡　むちゅ♡　むちゅ♡
ふああああああッ!!　ゝああっ……♡　んあっ……♡
くりとりす……かむ……なあ……!」

リリア

¹²³「ああっはあ……♡　んじゅっ！　んじゅっ！　んんっ♡
これが気持ちいいんですね……わかりました……ああっ!?
ああ……♡　あうう……♡　あう……♡　んんっ♡」

レイナ

¹²⁴「ああっ……♡　ゝああっ……♡　ゝああっ……♡
なまいき……!　んあううっ!!」

リリア

¹²⁵「ほら……おれい……ですよ……♡
んじゅるるるるるー……!」

レイナ

¹²⁶「ふおおおおおー……ッ!　おおお……っ♡
おおお……っ!　吸すわれる……オオオッ!　ふあああ♡
すごいじゃない……♡　もっと激しく来て♡
ぶじゅう♡　じゅるっ♡　じゅるっ♡　じゅるっ♡」

←（レイナ）この時点ではまだ少し余裕があるように

リリア

¹²⁷「ぶはっ♡ んああああっ……♡ はあ……はあ……
んんんーッ！ 余裕ぶらないで！ はぐっ！

だめ……！ 逝^いつくう……♡ ああっ♡」

レイナ

¹²⁸「ほら……お汁^{つゆあふ}溢れてきた……♡ んじゅ♡ んじゅ♡

んじゅ♡ んじゅ♡ んじゅ♡ おまんこ……

もう我慢^{がまん}できないって、言ってるわよ♡ んじゅ♡

んじゅ♡ んじゅ♡ んじゅ♡ んじゅ♡

ねえ……思いっきり噴^ふいていいのよ？

んじゅ♡ んじゅ♡ 負けちゃいなさい……

ほら、ほら！ 逝^いっちゃえええ♡

んちゅううううう♡」

←（リリア）絶頂に向かって徐々に激しく

リリア

¹²⁹「んはあ……♡ んはあ……♡

まけない……まけないからあ……あっ♡ んっ！

んちゅうううう♡ はあ……だめえ♡ んへえええ♡

ああああ♡ ああああ♡ ああああ♡ ああああ♡

逝^いつくう……！ 逝^いっちゃう!! はあはあはあ♡

逝く！ 逝く逝く逝く……

んあああああああああーっ！！（絶頂）

レイナ

¹³⁰「あああ♡ あっはあ♡

すっごい潮吹き……顔がびちゃびちゃ♡

んんっ!? んはあっ……♡ ああああああ♡」

リリア

¹³¹「まだ……まだあ……!! おかえしです。

わたしの愛撫も……受け取ってください。

んじゅ♡ んじゅ♡ んじゅ♡ じゅるっ♡ じゅるっ♡

じゅるっ♡ じゅるっ♡ んちゅうううう♡

んちゅうううう♡」

←（レイナ）絶頂に向かって徐々に激しく

レイナ

¹³²「あああ……♡ あああ……♡ あああ……♡

中が……熱い……はあはあ♡ お、おっきいのくる……

だ……め……♡ 舌が……♡ んほおっ♡

くるっ♡ はあっ♡ あああ♡ やめっ♡ あああッ♡

んおおおおおおおーっ！！（絶頂）」

「ふはあああつ……! はあはあはあはあはあ!

やられたら……やりかえすだけです……」

「はあはあはあはあはあはあはあ！」

あああ
……
♡

あああ
……
♡

」

「にがしませんよ……何回でも……逝いかせます

んちゅ♡
んちゅ♡
じゅる♡」

「は？ 誰があいてのおまんこを前に逃げるの？」

← (リリア) 息ができなくて苦しそうに

137 「んっ!? ふうふうふう! んんんー!」

リリアの顔を自身の股間に押し当てる

わたし
「どうしたの？ 私のおまんこ大好きみたいだから、」

私の方から……んっふ♡
締め付けてあげたのに♡」

139 「ん
ん
ん
ー
ー
ー
ッ
！

ん
ん
ん
ん
ー
ー
ー
ッ
！」

140 「ひさしぶりに……ちよつただけ頭に來たかも♡

19 / 55

泡噴いてぶっ倒れるまで_text.

／／
トラ
ック
②
終

＝トラック③

←（リリア）息ができなくて苦しそうに

（リリア…前方5 c m、レイナ…背後5 c m）

¹⁴¹「んむぐうううううー……ッ！」

んんっ！ んんっ！ んんんんっ！

¹⁴²（おまんこが口に……いきが……できない……！）

レイナは締め付けながら、リリアの股間を口で愛撫する

レイナ ¹⁴³「もう一発、逝つとく？ うふふ♡ んじゅううッ♡

んじゅううッ♡ むちゅっ♡ むちゅっ♡ れろっ♡

むじゅっ♡ むちゅっ♡ くりちゃんも、すごく固い♡

むちゅ♡ んちゅ♡ んじゅっ♡ んじゅっ♡

ほら、もうヒクヒクしてきた♡ やばいでしょ♡ ねえ？

おまんこで窒息しながら逝くって、どんな気持ち？」

¹⁴⁴「んっぶ！ んっぶうう！ んぶううううう！」

リリア ¹⁴⁵（息が……いきが……んあああああああ！

おまんこ、また舐められてる♡ くるしいけど……

それより、きもちいい……あたま……ばかになりそう……

あああ……やばい……やばいやばい……!!

おちる……からだが……快樂かいらくに負ける……!!)

リリア 146 「ふおおおおおおっ——ッ♡(絶頂)」

レイナ 147 「ぐっ! ぶっ! ふふ……♡ いい逝いきっぷりね♡」

リリアがレイナの上から転がり落ち仰向けになる

(リリア…左耳5cm、レイナ…右耳5cm)

リリア 148 「おお……♡ おおお……♡ んおっ……♡」

レイナ 149 「あれ? にげるの?

せっかく有利なポジションをあげたのに♡」

レイナ 150 「じゃあ今度は……私わたしから責めちやおうかな?」

リリア 151 「おお……♡ おおお……♡ ふおおおっ——ッ♡」

無防備なリリアの股を広げ、自身の股間を擦り合わせる

レイナ 152 「貝かひ合わせ♡ んっ♡ んっ♡

さあ、愛し合いましょ♡ ほくら、のこったのこった♡」

リリア 153 「あああっ♡ ああううう♡ ああっ♡ ああっ♡

ああっ♡ ああっ♡ んあっ♡ んあううううう♡」

レイナ

154 「ほら♡ んっ♡ 女の子の定番の勝負でしょ？
ていばん しょうぶ

押し合わないと♡ うんっ♡ 私に勝てないわよ♡
わたし

はあ♡ はあ♡ もっとスリスリしましうよう♡」

← (リリア) 泣きながら耐えているイメージ

リリア

155 「ああああ♡ あああああ♡ いぐっ！ いぐっ！

ぎもぢいいい!! ぎもぢいいいよおお!! ぁあっ♡

ぁあっ♡ ぁあっ♡ ぁあっ♡ ぁあっ♡ ぁあっ♡」

レイナ

156 「それは良かったわあ、感じてもらえて♡ んんっ♡

いやらしい音……まだ逝きたいんだ？ はあ♡ はあ♡
おと

いいよ♡ ぶちまけちゃって♡ おまんこ勝負で、
しょうぶ

負けるのよあなたは♡ はあはあ♡

ほら、もう耐えられないねえ♡

我慢せず、逝けっ♡ 逝けっ♡ 逝けっ♡
い

逝けっ逝けっ♡ 私にぶちまけて!!」
わたし

リリア

157 「ああっ♡ だめっ♡ ずっと逝ってるのにっ！
い

あああ……！ あああ……！

んおっ！ おっ！ ぁおっ！ ああっ♡ 逝くっ！
い

ああっ♡ 逝っちゃう♡ むりい……おまんこ……

耐えられない……！ んんん！ ぉおおお！

あついの！ のぼってくるう！！ ぉっ！ ぉっ！

ゝおっ！ ぉっ！ いやあああああーッ♡（絶頂）

158 「んはああ……っ んはああ……っ んはああ……っ！」

レイナ 159 「ふう……♡ ふう……♡

またおまんこで勝っちゃったかしら？ はあはあ♡

超^{ちやうたの}楽しいわあ……

あなたみたいな挑^{ちやうせん}戦^{しや}者を、返^{かえ}り討^うちにするの」

（リリア…左耳0cm、レイナ…右耳0cm）

リリア 160 「はあはあ……はあはあ……！ んおおおおっ！」

レイナ 162 「ふふ……終わったと思わないでね♡」

貝合わせから解放し、レイナは正面から手マンを始める

リリア 163 「んんっ♡ のおおお！ や、やめ……♡」

レイナ 164 「ゆび、何本^{なんぼん}いけるかしらあ♡」

リリア 165 「ふっ！！ んんううううーッ♡」

レイナ 166 「いち……に……♡ あらあら♡

ゆびが3本^{さんぼん}、おまんこにすんなり入^{はい}っちゃったぞ♡

ト・ド・メ♡ さしちやおうかな？」

泡噴いてぶっ倒れるまで_text.

／
／
ト
ラ
ッ
ク
③
終

リリアはレイナの激しい手マン責めに遭う

リリア

んおおおっ♡ おまんこ……こわれるっ♡

レイナ

リリア

レイナ

リリア

レイナ

リリア

26 / 55

レイナ

174 「そんな顔してくれるのねえ♡ うれしい♡」

リリア

175 「んおおおおおーっ！！♡（絶頂）」

レイナ

176 「また逝^いっちゃったねえ♡ もうあきらめたら？」

リリア

177 「ンおおっ♡ い……や……ぶおおっ♡ おおっ♡」

レイナ

178 「んじゅう♡ ちゅぱ♡ ちゅぱ♡ んじゅぽっ♡

ぷはあああ……次は♡

おっぱいとおまんこの同時責め^{どうじぜ}♡

脳天^{のうてん}まできもちいいでしょ？ ちゅぱ♡ ちゅぱ♡

←（リリア）意識を保つのに精いっぱいなイメージ

リリア

179 「あああ……あああ……♡ あああ……♡ あへええ♡

ああっ♡ ああっ♡ ああっ♡ あたまが……

しびれりゅ♡ あああ♡ あへええ……！」

レイナ

180 「あら……意識、無くなってきた？ 限界かしら？

ほらあ♡ んじゅるるる♡ 抵抗したら？」

リリア

181 「お……っ！ お……っ！ んお……っ！！」

レイナ

182 「んじゅぽっ♡ おやすみ……りりあ♡

むぐうううううっ！！」

リリアがレイナの顔を抱きしめ、おっぱいに押し当てる

リリア

¹⁸³「ああ……ああ……おっぱいで、

ああ……ああ……！窒息させてやる」

レイナ

¹⁸⁴「ぶぐううううううっ！！ んんんッ！ んんんッ！」

リリア

¹⁸⁵「ぬけないと……しにますよ……はあはあ♡」

レイナ

¹⁸⁶（やばい……ほんきで……やるきだ……）

リリア

¹⁸⁷「えんりよ……しませんよ……！

おっぱいで、窒息したいなら…… はあはあ……！

そのまま……しゃぶりついててください」

←（レイナ）酸欠状態から解放されるイメージ

レイナ

¹⁸⁸「んぶううううううっ！！ んっ！ んっ！

ぷはあああああッ！！ ぷはあああああッ！！

げほっ！ げほっ！ こほっ！

やったわね……この……っ!? はうううっ!?」

リリアから離れたレイナは後ろからリリアに責められる

（リリア..後方0cm、レイナ..前方0cm）

リリア

¹⁸⁹「はあはあ♡ うしろ……取ったあ……！

はあはあ♡ 取ったんだからあ……!!」

レイナ

¹⁹⁰「んああっ♡ だからなんだっていうのよ……！
んおおおおおおおッーーーーー!!」

背後からの手マンでレイナを襲う

リリア

¹⁹¹「ふうふう……♡

そっちだって、指ゆびさんぽん三本簡単に入りましたよ……

ふふ……たっつぷり、お返ししてあげます♡」

レイナ

¹⁹²「はあああ♡ はあああ♡ はな……して……

んおおおおおッ♡ おおおッ♡ やめ……！

んぐおおおおおッ♡」

リリア

¹⁹³「ここ……ですね♡ ここぎゅっと握られるのが、
弱いんですね……！」

レイナ

¹⁹⁴「こおおおッ♡ まって……はげしすぎ……
んおっ！ っおッ！ っおッ！ っおッ！ っおッ！

っおッ！ っおッ！ っおッ！ っおッ！」

リリア

¹⁹⁵「しょうじき……さっきの愛撫あいぶは、
意識とぶほど気持ちよかったですよ……

今度はわたしが……はあはあ……天国てんごくに送ってあげます」

レイナ

196 「ん、おおッ♡ ん、おおッ♡ ん、おおッ♡
いぐっ♡ あああ♡ いぐうう♡ いぐっ♡

逝^いっちゃう♡ はああ♡ おまんこぎもぢいい!!」

リリア

197 「ぜったい、逝^いかせる……!! はああ!

もう、がまんできないでしょ! いけえ♡ いけえ♡

いけいけいけ♡」

レイナ

198 「んぐ……っ♡ もう……ダ……メ…………

はあああああああー……ッ!! (絶頂)

リリア

199 「はあはあはあ……はあはあ……いっぱつめ♡

まだまだあ……わたしの受けた屈辱^{くつじやく}は……

こんなものじゃない……」

レイナ

200 「んええ……ぐ……んぶ……はあ……♡ ……んはあ♡

……ぶへ♡ ……んおおおおお!!

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡ 逝^いった♡ 逝^いったあ♡

逝^いったばかりなのにい! あああ♡」

リリア

201 「関係ない! 泡噴^{あわ}いてぶっ倒れるまで! ですよね!」

レイナ

202 「ん、おおッ♡ ん、おおッ♡ ん、おおッ♡」

リリア

203 「レイナさん、こうさんですか?」

レイナ 204 「んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡」

リリア 205 「わたしのおまんこの勝ちですね!？」

レイナ 206 「ぜったい……つぶしてやるう……んゝおおおッ♡

んゝおおおッ♡ んゝおああああああああ♡

こわ……れりゅ……んへえ♡ んへえええ♡

あへええええ……♡ (絶頂と放尿)

リリア 207 「はあはあ♡ あれ……おしっこ……もらしてますよ♡

からだじゅう……力^{ちからぬ}抜けてるくせに……♡

もう……ぶったおれそうですね!! そっちこそ……

あたま壊れてきました?」

レイナ 208 「んゝおお……ほ……んおおお……!! へたくそ……

んゝおッ……! ぜんっぜん、よゆうなのよ……

んんっ……! んゝおおっ♡ んゝああっ♡」

リリア 209 「この状況で……わたしを怒^{おこ}らせて、良^いいことなんて

ありませんよ……!!」

レイナ 210 「んゝおおっ♡ んゝおおおおおおっ♡ ま、た……♡

いぐう♡ うううう♡ イツく♡ ふっ……♡

ふおお……♡ (絶頂)」

リリア

211「はあはあ♡ すごい……ぐちゃぐちゃ♡

からだ けいれん
身体も痙攣してますよお……意識、とびかけてますね」

レイナ

212「ゝおおっ……♡ ほゝおお……♡ んおおおおお!!

はなせえ……♡ しつこすぎい……!! おおっ……♡

ふおゝおおお♡ ふおおおおお……♡

ふうふう♡ うぐおおおおお♡ おっぱいいいいい!」

レイナの乳首を潰すように愛撫する

リリア

213「ああ、おっぱいは強く握ったほうが感じるんですね?

ちよつと潰れるくらいが一番効いてますよ♡」

←(レイナ) 快楽を押し殺すように

レイナ

214「ふおおお……! んんんっ♡ んんん♡

んんーーーーーッ♡」

リリア

215「はあはあ……枕で声を殺すの……ずるくないですか

ほんきの喘ぎ声、聞かれるの嫌なんですね?」

レイナ

216「んんーーーーーッ♡

ぐむっ!? んむうーーーーーッ!!」

リリア

217「おまんこっ! おっぱい! 同時責めですっ!

はあはあ♡ さっきのお礼ですよ♡」

レイナ

218 「あああああーっっっっ♡ ♪おおッ♡ぐおッ♡
はなしてええ♡ あへええ♡」

リリア

219 「いやだあ……！ ここで、墮^おとしてやるう……！」

レイナ

220 「いぎいいい……♡ おぼえてなさいよ……

ぜったい……あはあああ♡ まけるもんかあ!!」

リリア

221 「ふううううう！ ふふううううう！

ぶちこわしてやるううう!! んあああああっ♡」

レイナが後ろ手にリリアのおまんこを責め返す

手マン合戦へ

レイナ

222 「んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡ おがえじい……

バックハンドだけど……んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡

おまんこ……とらえたわよ……」

リリア

223 「んゝああッ♡ んゝああッ♡ んゝああああッ♡

そんな……！」

レイナ

224 「んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡ んゝおおおッ♡」

リリア

225 「まけません……負けませんよ……有利なのは、

わたしです……んあッ♡」

レイナ

226 「ん、おおおおおーooooooooooooッ♡

私だって!! 負けられないのよおおおおおおお!!」

リリア

227 「ん、ああああッ♡ ん、ああああッ♡

だめええええええええええ!! てまん……♡

すご……すごい♡」

← (レイナ・リリア) 絶頂に向けて徐々に激しく

レイナ

228 「逝^いけえッ♡ 逝^いけえッ♡ 逝^いけえッ♡ 逝^いけえッ♡

いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡

んっ!! んほおおおおおおおおおおッ!! (絶頂)」

リリア

229 「逝^いってえ♡ 逝^いってえ♡ 逝^いってよお!

いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡ いげっ♡

んあああッ♡ いやあああああああ!! (絶頂)」

二人ともベッドから落下し、仰向けになってぐったりする

(リリア..左耳10cm、レイナ..右耳10cm)

レイナ

230 「うっ……はあ……はあ……はあ……はあ……い^痛ったあ」

リリア

231 「ううっ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……」

レイナ

232 「ふう……ふう……いしき、あるかしら?」

リリア

233 「はあ……はあ……とうぜんです……」

レイナ

234 「ふう……ふう……息が整ととのったら、最後の潰し合い、

はじめましょうか……決着けつちやく、つけましょうよ」

リリア

235 「ふう……どちらが上か、ふう……

からだで教えてあげます」

レイナ

236 「はあ……はあ……はあ……はあ……」

リリア

237 「はあ……はあ……はあ……はあ……」

///トラック④終

///トラック⑤

二人は立ち上がる。レイナはデイルドを手を持っている

(リリア..左耳10cm、レイナ..右耳10cm)

238 「はあ……はあ……いいもの見つけちゃった……

コレ……何かわかるかしら？」

239 「はあ……はあ……双頭デイルド……ですよそうとうね」

240 「そう。タラタラやっても、仕方しかたないし……

これで決めましょうか？

あ、おまんこユルユルでもう無理かしら？」

241 「まさか。いいですよ……ぜんぜん、余裕ですから」

242 「強つよがっちゃって……それじゃあ、同時に……

ゆっくり挿いれ合いましょ……」

お互いに双頭デイルド挿入

(リリア..左耳5cm、レイナ..右耳5cm)

243 「んっ……♡ んんんっ……♡ わたしのおまんこは……

ちゃんと握にぎりましたよ……」

244 「んんっ……ああ♡ 私も、準備できたわ……

ふふ、十分じゅうぶんな長さが余ったわね♡」

リリア 245 「この全部……レイナさんのおまんこにぶちこみます」

レイナ 246 「やってみなさいよ、雑魚ざこまんこちゃん♡

ぶち壊してあげる」

リリア 247 「ぜったい負けません……油断してると、

一気に持っていっちゃいますよ」

レイナ 248 「ああ、本気で私のおまんこより強いって、

勘違かんちがいしてるんだ？」

リリア 249 「勘違かんちがいじゃないですけど？」

レイナ 250 「じゃあ、この闘たたかいで格かくの違いを教えてあげるわ♡」

リリア 251 「ええ、教えてくださいよ」

レイナ 252 「ふふ……♡ お互いガードは無しよ。手を握り合って

正々堂々せいせいどうどう、おまんこ突つきあいましょ♡」

リリア 253 「上等じょうとうです」

レイナ 254 「準備はいいかしら」

リリア 255 「いつでも」

レイナ 256 「せーの……」

リリア 257 「せーの……」

双頭デイルドを押し合う逝かせ合い。

ジャケッイラスト（案）の構図

（リリア…左耳0cm、レイナ…右耳0cm）

レイナ

²⁵⁸「ふぐううううう……！ あっ！ あっ！ あああっ♡

んんんんんんんんんんんッ!! あああっ！

あああっ！ あああっ！ うごかない……！

はあはあはあはあ！ はうううううううっ！

負けないから……ぜったい先にぶちこんでやるわ……！」

リリア

²⁵⁹「くはあああああぁーッ！ ああっ！ ああっ！

まけません……負けませんよ……ッ！ んおおおお！

んおおおおおおッ！ はあ……はあ……はあ……

ふにいいいいいいいいいい!!

んおっ！ んおっ！ んおっ！ 押されるうううう……」

レイナ

²⁶⁰「あああ……あああ……あああ……んっ♡

んおおおおお♡ おまんこ勝負だけは……ゆずらない……

んおおおおおおおおおお♡」

リリア

²⁶¹「こっちだって……ゆずれませんから……ふおおっ♡

んおおおおおっ♡ んおおおおおっ♡ んおおおおおっ♡

おまんこお……耐えて……ッ！　んおおおおっ♡
んおおおおおっ♡　逝いっちゃだめえ……だめなのに……
あああっ♡　ああっ♡　ああっ♡

レイナ
262「ほら……ちよつとずつおまんこが降参こうさんして、

おちんぽ受け入れてわよ……♡　もう少し……ほら……
ポルチオまでぶちこんであげるわ……ッ！」

リリア
263「んああああああっ♡　はあっ……♡　はあっ……♡
そっちこそ!!　余裕ないくせにいいい！　ふんんんっ！」

レイナ
264「かっ……！　んおおおおっ！　んのおおおおおっ！
お、おまんこ……がまんして……あああっ♡

もうちよつと……　耐えて……！　耐えて……！」

リリア
265「はあっ！　はあっ！　はあっ！
膣ちつ圧あつが……弱くなってますよ……ふう……ふう……

もう耐えられないんですね？」

レイナ
266「ちようしに……のるなああっ！　んあううッ♡

ああああ……♡　ああああ……♡」

リリア
267「往生おうじょうせい際わが……わるいですよ……ふふ……
これならどうですか？」

レイナ

268 「んああああああああああっ！

だめええええええーっ！

ぐりぐり……しないでええええ……ああああ♡」

リリア

269 「んあッ♡ んあッ♡ んあッ♡

ふふ……おまんこ、また緩ゆるみましたね……隙すきあり♡ です」

レイナ

270 「はあっ!? あぐううううう！ んおおおおお！

ゝおほおっ！ んゝおおおっ！ んゝおおおっ！

ゝおおおおおおおおおおおおおーっ！」

リリア

271 「ふん♡ スズズズ入っちゃいましたね……

ぎぶあっぷですか？ なんて聞きませんよ。

潰れるまで、やるんですからねッ……！」

レイナ

272 「ゝあああッ！ ゝあああッ！ ポルチオオ！

あたってる！ ゝあああッ！ ゝあああッ！」

リリア

273 「知ってますよ……はあはあ……こわれるまで、

突き続けます」

レイナ

274 「んおおおおッ！ んおおおおおおッ！

だめええええええッ！ あああっ♡ はあんっ♡

止まってええええええ!!」

リリア

275 「どっちの！ おまんこが！ つよい！ ですか!？」

レイナ

276 「ゝおおおッ！ ゝおおおッ！ ゝおおおッ！ ゝおおおッ！
わだじよおおおッ！」

リリア

277 「こんなにお汁つゆが漏もれてるのにですか！」

レイナ

278 「あなたの雑魚まんこになんか！ ゝおおおおおッ！
負けてないわ！ ぜったいに……やりかえ……
ふおおおッ！」

リリア

279 「あああ♡ あああ♡ うふ……
このまま押し倒したら、どうなっちゃいますかね？」

レイナ

280 「はあっ！ はあっ！ んんっ♡ やめっ♡
それは……だめえええっ！ まって……！」

リリア

281 「足もガクガクですね………！
ほら、おまんこ比くらべですよ、押し返したらどうですか……
はあはあ」

レイナ

282 「あああ♡ はあああっ♡ ちからが……あああっ！
いやあああああああああっ………ッ！」

デイルドを挿れたままレイナを下にして倒れ込む

←（レイナ）激しく

レイナ

²⁸³「んおおおおおおおおおッ!!♡♡♡(絶頂)」

リリア

²⁸⁴「あっはあああああああ!!♡♡♡」

(リリア…前方0cm、レイナ…後方0cm)

リリア

²⁸⁵「はあっ♡ はあっ♡ はあああああ♡

覚悟してください……んんっ！」

リリアが上に乗リディルドをグリグリと押し込む

レイナ

²⁸⁶「あ……っ！ あっ！ ん、おおおおおおおおおッ！

、おおッ！ 、おおッ！ 、おおッ！

、おおッ！ 、おおッ！ 、おおッ！

ごわれるう！ ん、おおおおおおおおおッ！」

リリア

²⁸⁷「はあああ♡ はあああ♡ はあああ♡

はあああ♡ ん、おおおおおおお！ おっ♡

奥まで届きましたね？ ふふ……すごい汗♡

わたしの身体、からだ押し of ける力も無いですね」

レイナ

²⁸⁸「ゝあああ……♡ ゝあああ……♡ ゝあああ……♡」

リリア

²⁸⁹「まだ、やりますか……？ おまんこ♡

わたしの方が強かったみたいですけど♡」

レイナ

²⁹⁰「まだ……まだあ……まけてない……まけてない……
ぜったいに……かえしてやるう……！」

リリア

²⁹¹「ふふ……『泡^{あわ}噴いてぶっ倒れるまで』ですもんね。

確かにまだ終わってませんね……

じゃあ、わたしのプレス……受け止めてくださいね……！」

リリアがレイナの股間に杭を打つようなピストン運動を繰

り返す

←（レイナ）徐々に激しく

レイナ

²⁹²「な、なにを……んおおおおッ！　んおおおッ♡

おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡

おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡

おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡　おおおッ♡

ごわれるう♡　おまんこお♡　おまんこお♡

負けちゃううう！　ゝああッ♡　ゝああッ♡　ゝああッ♡

リリア

²⁹³「フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡

フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡　フンっ♡

おまんこっ♡　たねつけっ♡　プレスっ♡　ですっ♡

はああ♡ はああっ♡ こわすっ！ こわすっ！
壊してやるんだからああああああっ！」

²⁹⁴「ああああああああああッ！

おほッ！ ぉおッ！ ぉおッ！ ぉおッ！ ぉおッ！
ぉおッ！ ぉおッ！ がああ……か……かあ……！」

²⁹⁵「レイナさん！ あきらめて……たおれてえ！」

²⁹⁶「ぜ……ぜったい……やりかえす……やりかえすうう！

このおおおおおおおおおおお！

ぉおッ！ ぉおッ！ ぉおッ！ ぉおッ！

²⁹⁷「フンっ♡ フンっ♡ フンっ♡ フンっ♡

かえさせる……もんかあっ！ んあああああああ！?

デイルドが……んんんんんッ！ うごかない……」

²⁹⁸「はああはああ♡ やっと……ちっ膣が……し締まった……

ウンっ♡ ウンっ♡ ウンっ♡ ウンっ♡ ウンっ♡
ウンっ♡ ウンっ♡ ウンっ♡ ウンっ♡

レイナはデイルドを膣で締めて、下から連続で突きあげる

²⁹⁹「はああっ♡ はああっ♡ はああっ♡ はああっ♡

はああっ♡ はああっ♡ はああっ♡ はああっ♡

はああっ♡ いぐっ♡ いぐっ♡ いぐっ♡
いぐっ♡ いぐうううううう♡」

レイナ

³⁰⁰「おかえしいい♡ おかえしよおお♡

下からだって！ 突き上げられるんだからあ！」

リリア

³⁰¹「おおッ！ おおッ！ おおッ！ おおッ！

おおッほおおおおおおおおお！

んおおおおおおおおおッーッ！」

レイナ

³⁰²「突きあいよお！ リリアあ！ はあッ！

おおウッ！ おおウッ！ おおウッ！ おおウッ！

リリア

³⁰³「まけないいいッ！ おおウッ！ おおウッ！

おおウッ！ おおウッ！ はあはあはあ！

んおおおおおおおッーッ！

おおウッ……！ おおウッ……！ おおウッ……！

あへええ……♡ ふええ♡ はああ♡ ハア♡」

レイナ

³⁰⁴「さあ、あなたも……とろけてきたでしょ♡

おちろお……！ おちろお……!! おちろお!!」

リリア

³⁰⁵「ああ……！ あああ♡ あああ♡ あああ♡

んえええ……！ とまらない……

逝^いくの、止まらない……

はうううううう♡ あああ♡ あああ♡

おかしくなりゆう♡ でも……うん♡ うん♡

うん♡ うん♡ れいなさんこそお……！

おまんこゆるくなってますよ!!」

レイナ 306 「んほおお♡ んほおお♡ んほおお♡

んほおお♡ んじゅう♡ んじゅう♡ んじゅう♡

リリア 307 「ふああ♡ おっぱい……ここで……舐^なめられたら……

あああああん!!♡」

レイナ 308 「ちゅぱ♡ ちゅぱ♡ ちゅぱ♡

はあはあ……んんんんんんん!

ひっくりかえしてやるう! うにいいいいいいい!」

横転させて上下を入れ替えようとするレイナと、

それを阻止しようとするリリアの攻防

リリア 309 「あああああッ! いやだあ……! わたしが上^{うえ}よお!

上^{うえ}なのは! わたしい! はあはあはあ! あああ♡

いぐうううううう♡」

レイナ 310 「かえすうううう! ふんんんんんんんッ!」

リリア

³¹¹「だめええええッ！　おうッ♡　おうッ♡

くはああああああああ♡　はぁ♡　はぐう♡

つきあがって……くるう♡　はああ♡」

レイナ

³¹²「んおおおお♡　んおおおお♡　まけるかあ……

んんんーーーーッ!!」

リリア

³¹³「あああああーーーーッ！　（絶頂）」

ぐるっと上下が入れ替わる

（リリア…後方0cm、レイナ…前方0cm）

レイナ

³¹⁴「はあはあはあはあ！　かえした……かえした……！

おまんこマウント……とりかえたわよ……こんどは……

こっちのばんっ！」

逆にレイナがリリアの股間に杭を打つような

ピストン運動を繰り返す

←（リリア）泣きながらかなり激しく

リリア

³¹⁵「はあ！　はあ！　はあ！　はあ！　はあ！　ぐひんっ！

ゝああっ！　ゝああっ！　ゝああっ！　ゝああっ！　ゝああっ！

ゝんおおおッ!!　ゝんおおおッ!!　ゝんおおおッ!!

ぎもぢいいいい♡　ゝああっ♡　ゝああっ♡

んほおおおおお♡ おまんこ……締しまらない♡
こ、わ、れ、ちゃ、うう！ らめえええ……！

んおおおッ!! んおおおッ!! んおおおッ!!

←(レイナ)泣きながら全力で腰を打ち付けるイメージ

レイナ
316「うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡

うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ ぜったいつ！

やりかえすって！ 言った！ でしょ！

はああっ！ はあっ！ はあっ！ 私わたしのっ！ ぷれす！

いかがっ！ かしら!？」

リリア
317「いやああああ♡ はああ♡ はああ……♡

あああ……あいえき……とまらないい……♡

子宮しきゅうがあ……♡ あああ♡ ばかになるう♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ 来きちゃった♡

んおおおッ!!

んおおおッ!! (絶頂)

か……ッ……あぐ……ぶ……ぶ……ぶ……」

レイナ
318「うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡ うんっ♡

リリア!? 墮おちたかしら!？」

リリア

319 「おおお……おおお……♡ まだ……まだあ……♡
かつ……んえ……ぶぐ……ぶ……ぶ……」

レイナ

320 「はああ♡ はああ♡ はああ♡ はああ♡ はああ♡
もうげんかいでしょおおおおお！ 堕ちろお！

321 「ふふ……ふ……ぶぐ……ぶぐ……んんんんッ！」
322 「んんんっ!? ンおおおおおっ!! かつ……♡

リリア

この……まだ……こんな……ンおおおおおっ!!」
リリアがレイナの腰に足を巻き付け、身体を密着させる。

レイナ

お互いがポルチオまでデイルドを届け、
抱きしめ合った状態でえぐり合う

リリア

323 「だ、だいしゆき……ほーるどお……♡ ンのおおお♡
おおおっ！ ぽるちおの……あっあっあっ♡ がまん……
くらべえ……うぎいいっ♡」

レイナ

324 「が……んおっ……♡ ……じょうとう……
ポルチオ……えぐりあいましょ!!♡」

リリア

325 「んんんんんんんんんんッ！ おおおおッ！
おおおおッ！ おおおおッ！ おおおおッ！

わたしがあ……かつ……かつ……かつう……

がああああ……ッ！ ンおおおおお……ッ！」

レイナ ³²⁶「んんんんんんんんんっ！ 〴〵おおおおッ！

〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！

んおおお……んおおお……んおおお……んおおお……

まける……もんかあ……！ 〴〵おおおおッ！」

リリア ³²⁷「ふおおおおおおおおお！ ンおおおおおっ！

〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！

〴〵もう……!! だ……めえええ……!!」

レイナ ³²⁸「〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！

んおおおおおおおおおおおッ！

〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！ 〴〵おおおおッ！

これでおわりよおおお！」

リリアが限界を迎えて動きが止まる

リリア ³²⁹「かつ！ ……かあっ……かつ……ぶ……ぶ……ぶ……」

レイナだけがピストン運動を再開する

レイナ ³³⁰「どっちが！ うえっ！ かしら!？」

リリア ³³¹「お……ッ！ ンご……ぶ……ぶ……！ うふ……!」

レイナ

³³²「んっ♡ んっ♡ んっ♡ んっ♡

んっ♡ んっ♡ んっ♡ んっ♡ んっ♡

こわれてええええ！」

←（リリア）失神して泡を噴いているイメージ

リリア

³³³「……………んぶ……………んっ……………かつ……………♡

ぎ……………ぶ……………あっぶ……………

ぎ……………ぶう……………ぶぐっ……………」

レイナ

³³⁴「んはああっ！ はあ！ はあ！ はあ！ はあ！ はあ！ はあ！

はあ！ はあ！ はあ！ はあ！ はあ！

はあ……………はあ……………はあ……………はあ……………」

（レイナ…前方10cm）

レイナ

³³⁵「^{あわ}泡噴いて……………失神……………したわね……………うふ♡

^{じゅうねん}十年……………早かったようね……………リリア……………♡」

///トラック⑤終

(リリア .. 左耳 5 c m、
レイナ .. 右耳 5 c m)

レイナ リリア

←（リリア）息ができなくて苦しそうに

リリア

仰向けに横たわるリリアの顔の上に、おまんこを押し付け

レイナ

かくづ
格付けは、
徹底的にさせてもらうわ」

リリア

レイナ

「このおまんこに負けたのよ？
ほら？
みえるでしょ？」

リリア

リリア

レイナ

「この顔が見たかったのよねえ」

レイナがリリアの顔の上で絶頂を迎える

←（リリア）愛液を顔面で受けて苦しそうに

リリア
345 「んんんんんん…!? ぶううううううううう！」

ぶうううううううううう！」

レイナ
346 「んあああっ♡ ハアハア気持ちよすぎて逝いっちゃった♡

ごめんね、おトイレみたいに使っちゃって♡

あなたのお顔、座り心地ごこちが最高なの♡

ふふ…少しだけ空気くうき吸わせてあげるわね」

レイナがリリアの顔から少しだけ腰を浮かす

←（リリア）泣きながら

リリア
347 「ぷはあああっ！ ぷはああああっ！

うぐううううっ！ ぐっぞおおおおおおお…」

レイナ
348 「なかなか楽しかったわよお…リリア。

リベンジマッチ…いつでも受けて立つわ♡

あと、部屋片づけへやかたときなさいよ。 あなたの愛液あいえきのほうが、

たつくさん、ぶちまかれてるんだから♡ わかった!？」

レイナは再びリリアの顔に腰を落とす

リリア

349 「ぶぐううううううううう！ んんんっ！

んんんんんんんーッ！」

レイナ

350 「ふふ……これが女の闘いで負けるっていうことよ♡

あ！ そうそう、一応試験の結果を伝えておくわね」

リリア

351 「んぶうううううっ！ ぶじゅうううううう！

ふはあああああっ！ はあああっ！ はあああっ！」

レイナはリリアの顔を覗き込みキスをする

←（レイナ）いやらしく

レイナ

352 「ふ・ご・う・か・く♡ 出直でなおしてきてね♡ ちゅっ♡」

リリア

353 「あああ……あああ……！ くやしいい……！！

ぐやじゝいいいいいいいい！！ うえっぐ……！！

うえっぐ……！ あああん！ ああああああ！」

レイナ

354 「じゃあね♡ 負け犬まんこちゃん♡」

語り
(リリア)

(語り…前方0 c m)

³⁵⁵ リリアとレイナの激闘は、

ギリギリのところでレイナに軍配があがった。
ぐんぱい

³⁵⁶ しかしこれでリリアの火が消えることはなかった。

³⁵⁷ 数か月後、敗北を乗り越えたリリアが、

さらに力をつけたレイナに

闘いを挑むことになるのだが――

それはまた、別のお話

///トラック⑥終